

近畿本部 経営工学部会 2020年12月度定例会および研修会議事録

日時 2020年12月19日(土) 13:30~16:00

場所 ZoomによるリモートWeb開催

出席者 34名(全てWeb参加 *参加申込み(資料配信)は38名)

事前配信資料 ①2020年12月度定例会(研修会)議事進行表 ②例会出欠表

③研修会資料(鶴田技術士)、④なりわい支援WG活動(パンフレット及び紹介・杉山技術士)

⑤202011理事会報告(議事資料及び概要・理事/坂井技術士)

事後配信資料(参加各位へ) CPD行事参加票(荒井副部長)

司会進行 担当幹事 萩野技術士

1. 開会挨拶 (間島部長)

- (1) 10月以来のWeb上のご参集感謝。近畿本部の他会合も対面に代えてTeams,Zoom活用が主流化。
- (2) 2025年の万博へ近畿本部としても何らかの活動を行うべく「準備委員会」を編成して活動を開始しています。会員の皆さまのご協力をお願いします。
- (3) コロナ禍の状況でのオンライン会議主流化は、時間や場所の無制約性を生かしたデジタルトランスフォーメーション(DX)の一つでもあるが、同時にフィールドワークの重要性も再認識するところである。

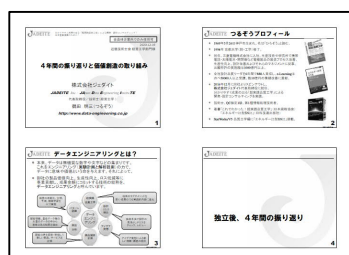
2. 研修会(講演)

・演題:「4年間の振り返りと価値創造の取り組み」

・講師:鶴田明三 技術士(経営工学部門) 株式会社ジェダイト

・概要:導入としてまず独立後の4年間の振り返り、実績と近況を総括する。弊社はこれまで品質工学等のデータオリエンテッドなアプローチで製品品質向上や生産性向上を主としたお手伝いをしてきた。一方、失われた30年に見るように我が国の製造業はGAFAMやBATHIに対して価値創造の遅れが目に見える。そこでここ1,2年弊社では価値創造の取り組みとして、①実践テーマの決め方の問題、②新製品開発企画の問題、③アイデア創出の問題について、それぞれソリューションを提供し、いづれか実績が挙げられたのでその一部を手法とともに紹介する。

・質疑では「アイデア創出を指導した際の被指導側の創出レベルや最終的な採択率」「今後の付加価値としてのサービスの在り方とは」等についての討議がなされた。



4. 部会活動及び諸連絡事項など

(1) 今後の経営工学部会の活動予定

- ・2021年 2 月度の「部会＋研修会」(2/20(土)予定)
 - 開催方法は社会状況などから別途判断する。
- ・現地見学研修会:コロナ対応などから 2021年/3 月 までは実施見送り
- ・近畿本部／経営工学部会の次期役員選出:従来通り、部会内にて選挙を行う予定

(2) 近畿本部の活動状況

- ・近畿本部／会議室は、三密対応実施中:大会議室はMAX 18 名まで 入室時の消毒など
- ・近畿本部／事務局は、通常業務実施中
- ・Web開催のシステム環境を準備済み(Teams と Zoom)
- ・近畿本部主催の CPD 研修などのイベントは、Web 運用にて活動を実施中
- ・各部会及び研究グループ活動は、各部会の判断にて実施中

(3) 最近の近畿本部の活動実績

- ①2020 / 11 / 14 (土) 修習技術者支援／年次大会 (Web にて)

(4) 2020 年 / 12 月以降の近畿本部の主な活動予定

- ①■中止 : 近畿本部／新春・賀詞交歓会
- ②2021 / 1 / 17 (日) 防災シンポジウム (神戸市にて)
- ③2021 / 1 / 23 (土) 修習技術者支援／コンピテンシー発表会 (※)

※訂正・お詫び ③につきましては

(議事中の情報にあった「近畿本部」ではなく)「おおきに会議室(おおきに御堂筋瓦町ビル)及び Web 参加も可」での実施となる予定です。

- ④2021 / 2 / 5 (金) 協賛団体特別セミナー (大阪科学技術センターにて)
- ⑤次期役員選挙の告知あり
- ⑥次年度の技術士試験の概要発表(第一次・第二次試験の大綱が各々発表されている)あり

5. 自由発言、その他

- ①日本技術士会理事会報告(理事/坂井技術士) →配布資料により、11月の理事会報告。
- ②なりわい支援 WG 活動紹介(杉山技術士)→配布資料により、WG参集の案内を含む活動紹介。
- ③次回以降の講演について
引続き次回以降の講演者を募集中で、幹事まで連絡をお願いします。議事上まででは神原典広技術士・岡崎哲三技術士が講演検討中の状況で各々2021年の2月、4月の講演をご検討頂く。
- ④参加各位の近況報告
(大多数の) 交信可能な全Web参加各位より一度ずつ近況報告の短い発言を頂いた。各位ともいわゆるコロナ禍のもとでの次善の活動という面では共通するものの、所属府県・在住府県・関係業種・職種・その他のトピック・・・などから状況は実に多種多様であるという報告となった。

6. 閉会挨拶 (古橋)

本日講演の鶴田技術士への御礼を申し上げます。理論に基づいた価値創造がポイントであるという印象を改めて受けました。また、とりわけ今回は過去最多の人数の参加申込を頂きました。2020年の末としてこの10年間を振り返りますと、各回の定例部会参加者数はほぼ倍増となっております。これに関しましては、この10年間以前からの礎を築かれた方々、よりよい例会運営への御助言や御支援を頂いた方々、そして各回参加の各位、のご尽力によるものでございまして改めまして深く感謝申し上げます。

以上(文責:古橋崇史)